

緑のカーテン大作戦

～みんなで作って地球温暖化防止！～

西脇市では、地球温暖化防止や環境意識の普及を目的に、『緑のカーテン大作戦』に取り組んでいます。みなさんも身近なところから、地球温暖化防止に取り組んでみませんか。



■緑のカーテンとは

『緑のカーテン』は、ゴーヤやアサガオなどのツル性の植物を育てて作る環境にやさしい自然のカーテンです。窓からの直射日光をさえぎるとともに、葉から出る水蒸気が周囲の温度を下げてくれるので、冷房の使用が抑制でき、省エネ対策や地球温暖化対策に有効です。

★緑のカーテンの作り方



■用意するもの

- 苗、種 ゴーヤ、アサガオ、ヘチマ、フウセンカズラなど
- プランター 土が40L以上入るもの
 ※プランターでも大丈夫ですが、花壇などに地植えの方が育てやすいです。
- 土 培養土（「花と野菜の土」など）が便利です。
 去年使った土に、腐葉土や堆肥を混ぜて再生させることもできます。
- 肥料 長くゆっくり効くものを使うといいでしょう。
- ネット 10 cm×10 cm角目のものがおすすめです。

■植え付け（5月頃）

土容量が40Lのプランターの場合、1鉢につき2株を植え付けます。種まきから始めることもできますが、苗から育てるのが簡単です。苗や種は園芸店やホームセンターで販売されています。

■水やり（随時）

プランターの表土が乾いたらたっぷり水を与えます。夏場は水の消費も早くなるので、様子を見ながら朝夕2回水やりすると良いでしょう。

■ネットの設置

ツルが伸びてきたらネットを設置します。必要に応じて支柱を立て、風で倒れないようにしっかりと固定します。

■摘心

本葉が5～7枚くらいになったら、親ツルの先端を摘み取り、その脇から子ツルを伸ばします。

■ツルの誘引

伸びたツルをネットに絡ませます。ツルは上に伸びる性質があるので、横に広げるように誘導します。ツルがうまくネットに巻きつかない場合は、ヒモやテープでネットに結び、上手に絡まるように誘導してください。またネットからはみ出たツルはどんどんカットしてください。

■肥料（追肥）

生育にあわせて、2週間に1回程度を目安に追肥を施します。与えすぎには注意しましょう。

■病害虫

アブラムシなどの害虫が発生することがあります。状況により薬剤を散布してください。

■収穫

ゴーヤの場合、開花から2～3週間で、果実の形ができます。表面のイボイボが膨らんできたら収穫時期です。すぐに変色してしまうので、早めに収穫するよう心掛けてください。

■片付け

葉が枯れてきたら片付けを行います。前もって根元を切り、枯らしてしまってから、巻きついたツルをネットからはずしてください。

作成：西脇市くらし安心部環境課
TEL 0795-22-3111
FAX 0795-22-3515